

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 5月 18日

事業所名 _____ オールケア北千里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1		限られたスペースではあるが配慮している。	利用者の人数に合わせスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	2			時間帯によっては他事業所の応援を要請するなど対策している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2		フラットな状態である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1			月1回の研修で情報共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			モニタリング時や送迎時にお話を聞きだす努力はしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページに掲載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			内部・外部の研修を行い向上を目指している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			モニタリングを定期的に行い計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			決められたツールを使い活用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			日々職員と話し合い行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			職員の意見を出し合い工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			児発管・職員と話し合って決めている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			その時々で活動内容を変えながら組み合わせている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			前日までには計画を立て支援にあたっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			振り返りについて議事録におとしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			記録を整備しており改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			定期的なモニタリングのほかに見直しが必要な時はその都度判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			基本活動を勉強しながら取り組もうと努めている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児発管・ケース担当などが関われるようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校との連携・保護者からの情報で適切に行えるよう努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		指示書を取り寄せるなど体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		連携体制が整えていず、今後整えていく努力をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		支援学校から十分な情報を頂けている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		コロナの影響で取れていなかったが今後進めていく予定である。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		コロナの影響で取れていなかったが今後進めていく予定である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		コロナの影響で取れていなかったが今後進めていく予定である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		お互いに相談助言を頂きながら深い理解に努めている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		経験を積みながら努力をしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		モニタリング時やお電話にて話ができている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談があった時や、何かあるなど感じ取り寄り添えるように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		コロナの影響で取れていなかったが今後進めていく予定である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		対応できるように努力している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		
	35	個人情報に十分注意している	4		十分に配慮している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		機関紙等で周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止委員会を発足し会議を行い研修も 行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		個別支援計画に記載説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		アレルギーの有無を確認したうえで指示書を 確認の上対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		安全委員を発足して起きたヒヤリハットを 共有している

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：2023年 5月 18日

事業所名 オールケア北千里

保護者等数(児童数)16名

回収数 13名

割合 82%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2				状況に合わせて同線を確保し環境整備に努めています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	3				人材確保と育成を継続して行きよりよい支援が出来るようにしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1	1			特製に合わせたバリアフリー環境を心がけている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7	3	2			個人のニーズを聞き出し適正な計画を作成するようにしている
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8	3	2			計画を立て固定化しない努力はしている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	5	4			コロナの影響で出来ていない。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	2				訪問時に詳しく説明できるようにしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1				お話できるように努めています
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	4				面談時にはできる限りの聞き取りをするようにしています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	6	4			保護者会の開催の計画を立てています
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1				すぐに訪問できるように対応させて頂いています
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					出来る限り子供たち・保護者に寄り添えるように配慮している
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3				機関紙やインスタグラムを更新していけるようにしている。
14 個人情報に十分注意しているか	13					十分に配慮し注意をしています	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11					周知・説明出来るように努めている
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2				月に1回必ず実施している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11					1人1人の楽しみを考え提供できるように努めています。
	18 事業所の支援に満足しているか	12					満足のいく支援を心がけています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。